



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 三津原 庸介  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 加藤 慶 TEL 03-6810-0800  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	254,127	9.1	13,144	7.1	6,550	12.4	6,517	11.7	3,769	△12.1
2023年3月期第3四半期	232,844	4.2	12,277	2.3	5,829	0.0	5,836	△3.7	4,289	291.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,773百万円 (△12.2%) 2023年3月期第3四半期 4,300百万円 (286.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	125.99	-
2023年3月期第3四半期	143.23	-

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	194,365	59,511	30.6
2023年3月期	185,297	56,483	30.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 59,511百万円 2023年3月期 56,483百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	12.50	-	12.50	25.00
2024年3月期	-	12.50	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	337,100	7.6	17,300	5.9	8,400	10.7	8,300	8.0	4,300	△3.6	143.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	32,048,000株	2023年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,130,651株	2023年3月期	2,133,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	29,916,270株	2023年3月期3Q	29,948,912株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式（2024年3月期3Q 69,016株、2023年3月期 72,200株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料についてはTDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行されたこと等により社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、地政学リスクや物価上昇等の影響に十分注意すべき状況が続いております。このような経済情勢のもと、当社グループでは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震につきましては、発災直後には当社グループの薬局3店舗が臨時休業することとなりましたが、休業中においても来局された患者さまには可能な限り対応するように努めるとともに、災害対策対応サポート要員30数名を派遣し、医薬品を必要とする方々のために薬局の早期再開に注力いたしました。また、被災された皆さまに対する支援として義援金の寄付を行っております。今後も被災された皆さま、並びに当社従業員やそのご家族の生命と安全を最優先に、最適な支援策を実施してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、医薬品製造販売事業において、薬価改定や販売品目の見直しに伴う品目数減少の影響を受けたものの、上期に引き続き好調な調剤薬局事業の寄与、及びグループ全社を挙げたコスト抑制の取り組みにより、売上高254,127百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益6,550百万円（同12.4%増）、経常利益6,517百万円（同11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,769百万円（同12.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績及び取り組みは以下の通りです。

#### ① 調剤薬局事業

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前年度の出店効果及びインフルエンザ等の感染症流行に伴う処方箋枚数の増加等により、売上高は225,570百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は10,628百万円（同0.2%増）と前年同期比で増収増益となりました。2023年12月末時点での総店舗数は、同期間に26店舗の新規出店、14店舗の閉店を行った結果、計730店舗となりました。なお、国が2023年度末までにすべての都道府県で80%以上とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社グループでは12月末時点ですべての都道府県において80%を達成しており、全社平均では90.8%（供給停止品目等を算出対象から除外して計算）に達しております。また、在宅医療実施店舗の割合は94.9%（年間24件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

また、患者さまの医療アクセス及び利便性の向上に資する取り組みを引き続き積極的に実施しております。日本調剤では株式会社メドレーが提供するオンライン診療・服薬指導アプリ「CLINICS」を通じてオンライン服薬指導を提供しておりますが、これまでお薬のお受け取り方法が配送に限られていたところ、「CLINICS」に登録された日本調剤グループの薬局にて対面でのお受け取りが可能となりました。

さらに、日本調剤の価格均一OTC医薬品ブランド「5COINS PHARMA」につきましては、これまで解熱鎮痛剤や胃腸薬、トローチなど全14品目を展開していたところ、総合風邪薬である「トピックスーパー風邪薬」をはじめとする4品目を新たにラインアップに追加いたしました。また、当社グループ以外の薬局においても販売を開始するなど、すべての人のセルフメディケーション推進に貢献するための取り組みを拡大させております。

#### ② 医薬品製造販売事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は31,163百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は555百万円（前年同期は456百万円の損失）となりました。2023年4月の薬価改定に伴う既存販売品の販売価格の下落、一部製品の限定出荷の影響があったものの、自社工場における生産数量の回復、既存販売品及び新規薬価収載品の堅調な販売により増収増益となりました。なお、2023年12月末時点での販売品目数は、販売品目の見直しを進めた一方、2023年6月、9月及び12月に新規薬価収載品合計7品目を発売したことにより540品目（一般用医薬品2品目を含む）となりました。

安定供給に向けては、業界全体の供給不安や2021年11月の西日本物流センターの火災の影響等により、多くの販売品目について限定出荷を行っていましたが、安定供給体制が整った製品から順次通常出荷に戻しており、2023年12月末時点での限定出荷品目数は146品目となっております。引き続き、ジェネリック医薬品の品質管理と

安定供給を最優先としつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品の拡大及び生産性の向上に取り組んでまいります。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は7,370百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は795百万円（同32.1%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、医師を中心とした新型コロナワクチン接種関連業務の需要が前年同期比で減少した一方、主力である薬剤師の派遣・紹介事業の業績が引き続き拡大したことにより前年同期比で増収増益となりました。産業医事業においても需要が拡大しており、国内企業の健康経営への貢献をさらに推し進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は194,365百万円となり、前連結会計年度末の185,297百万円に対し、9,067百万円、4.9%増加いたしました。主に、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は134,853百万円となり、前連結会計年度末の128,814百万円に対し、6,039百万円、4.7%増加いたしました。主に買掛金の増加によるものです。

純資産合計は59,511百万円となり、前連結会計年度末の56,483百万円に対し、3,028百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は30.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月31日付「2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,770	16,926
受取手形	70	45
売掛金及び契約資産	21,246	23,126
電子記録債権	437	226
商品及び製品	28,416	34,565
仕掛品	1,742	1,980
原材料及び貯蔵品	6,021	6,789
その他	4,022	4,656
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	85,720	88,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,361	29,517
土地	13,377	13,339
建設仮勘定	1,828	2,513
その他（純額）	17,867	17,375
有形固定資産合計	61,435	62,746
無形固定資産		
のれん	14,195	13,174
その他	5,377	7,931
無形固定資産合計	19,573	21,105
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	9,160	11,932
その他	9,391	10,254
投資その他の資産合計	18,568	22,203
固定資産合計	99,576	106,055
資産合計	185,297	194,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,916	56,437
電子記録債務	1,476	2,447
短期借入金	2,000	-
1年内返済予定の長期借入金	10,390	10,170
未払法人税等	2,640	324
賞与引当金	3,892	2,088
役員賞与引当金	68	-
その他	8,665	11,405
流動負債合計	77,050	82,874
固定負債		
長期借入金	44,640	42,122
役員退職慰労引当金	79	91
退職給付に係る負債	2,464	2,623
その他	4,579	7,142
固定負債合計	51,763	51,979
負債合計	128,814	134,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	45,216	48,236
自己株式	△3,600	△3,596
株主資本合計	56,495	59,519
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△12	△8
その他の包括利益累計額合計	△12	△8
純資産合計	56,483	59,511
負債純資産合計	185,297	194,365

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
売上高	232,844	254,127
売上原価	192,233	211,315
売上総利益	40,610	42,812
販売費及び一般管理費	34,780	36,262
営業利益	5,829	6,550
営業外収益		
受取手数料	30	34
受取賃貸料	438	488
受取保険金	54	15
補助金収入	26	40
その他	203	161
営業外収益合計	753	739
営業外費用		
支払利息	201	263
支払賃借料	330	323
その他	214	186
営業外費用合計	746	772
経常利益	5,836	6,517
特別利益		
固定資産売却益	1,170	65
受取補償金	120	32
特別利益合計	1,290	97
特別損失		
減損損失	114	142
固定資産売却損	51	3
特別損失合計	166	146
税金等調整前四半期純利益	6,960	6,468
法人税、住民税及び事業税	1,720	1,847
法人税等調整額	950	851
法人税等合計	2,671	2,699
四半期純利益	4,289	3,769
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,289	3,769

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,289	3,769
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	10	4
その他の包括利益合計	10	4
四半期包括利益	4,300	3,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,300	3,773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	208,074	18,870	5,899	232,844	—	232,844
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	10,446	10	10,459	△10,459	—
計	208,076	29,316	5,909	243,303	△10,459	232,844
セグメント利益又は損失(△)	10,601	△456	602	10,747	△4,918	5,829

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△4,918百万円にはセグメント間取引消去△66百万円及び全社費用△4,851百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(2店舗)等の減損損失62百万円を計上しております。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、工場設備の一部について減損損失52百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	225,570	21,222	7,334	254,127	—	254,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,940	35	9,976	△9,976	—
計	225,570	31,163	7,370	264,103	△9,976	254,127
セグメント利益又は損失(△)	10,628	555	795	11,978	△5,428	6,550

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△5,428百万円にはセグメント間取引消去△143百万円及び全社費用△5,285百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(3店舗)等の減損損失142百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。